



最後まで諦めず、何事も楽しむ気持ちで

鶴ヶ島第二小学校、藤中学校卒業
國學院大學久我山高等学校1年生

とちぎ国体「少年男子バスケットボールの部」で東京都代表として出場し、準優勝
今冬は「ウインターカップ」(全国大会)の出場も決まり、12月23日に本戦をひかえている。

小学3年生から「鶴ヶ島ドリームス」に所属し、小学6年生の時キャプテンを務め、埼玉県選抜に選ばれる。中学生からは鶴ヶ島市、坂戸市を拠点とするバスケの強豪クラブチームEagle Nest Stageに所属。埼玉県予選を優勝し、Jr.ウインターカップに出場。全国ベスト8の成績を取める。

従兄弟の姿に憧れて始めたバスケット
小学校3年生からバスケットボールを始めた鈴木煌汰さん。きっかけは従兄弟がバスケットをしてる姿がかっこ良かったから。「いつか自分も同じようにバスケットをしたり、教えられるようになりたい」と思いました。当時の状況を懐かしそうに思い出しながら、話してくださいました。

国体準優勝して

今年の10月に開催されたとちぎ国体では東京都代表選手に選ばれ、準優勝に輝きました。「国体のチームメンバーはみんな別々の高校から集まっているので、ケガなどの影響で集まることが難しく、練習時間を確保することに苦労しました。でも、練習以外の時

間もチームの仲間とたくさんコミュニケーションをとり、短時間の中で高い集中力で練習した結果、準優勝できたことは嬉しいです」と冷静に国体を振り返る鈴木さん。「心に残っているのは千葉県との試合です。20点差から逆転の勝利にも繋がりました。監督の確かな指示と最後まで諦めなかった気持ちの結果につながったと思います」胸の内に秘めた鈴木さんの熱い気持ちが感じられました。

バスケットを頑張っている子たちへ

「まずはバスケットを楽しんでください。私はバスケットが楽しくてずっと練習していたら、少しずつ上達していききました。どんな時でもバスケットを楽しむ気持ちを大切にしてください。それから、日々の生活の中での整理整頓やあいさつなど、生活態度がバスケットのプレーの中でも表れます。コート内だけではなく、コート外での行動も大切に過ごしてください」ポイントガード(試合の司令塔として指示出しをする役)として、チームを引っ張る鈴木さんはコート外での過ごし方や振る舞い方も大事に考えています。

次の目標に向けて

10月から始まったウインターカップ予選で、見事東京都予選を勝ち抜いた鈴木さん。本戦出場への意気込みを伺いました。「ポイントガードとしてチームを支えて、ベスト8を目指します。今よりももっと成長して、さらに上の成績を取みたいです」小学生の頃から、素晴らしい功績を積み重ねる鈴木さんですが、現状に満足せず、さらに上の目標に向かっていきます。冷静さの中に熱い想いを込めながら、話してくださいました。さらなる活躍が期待される鈴木さんを、鶴ヶ島はこれからもずっと応援しています。



編集後記

今、世界中で、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて取り組みを進めています。私たち鶴ヶ島市では、SDGsよりずっと早い平成3年に「地球にやさしいリサイクル都市づくりの誓い」を宣言して、循環型社会の形成に取り組んできました。リサイクル都市宣言はこのように結ばれています。「美しいふるさとを育み、未来の子どもたちに送ることを誓います」未来の子どもたちのために、リフューズから始める5Rに取り組みましょう。ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ
☎10200001@city.tsurugashima.lg.jp

広報紙にお子さんの
とっておきの1枚を
掲載しませんか

応募はこちら▶



下の歯生えたよ！

さいとうあかり
齋藤朱里ちゃん(10か月)

